

異なるティーで対戦する場合のコースHDCP調整方法について

コースHDCPはティー毎(コースレーティング毎)に換算しますが、以下の例に準じてコースHDCPの追加調整を適用すれば、異なるティーを使用したプレイヤー同士が対戦する場合(および男女が対戦する場合)でも公平に競えます。詳しくは、JGAハンディキャップ規定(USGAハンディキャップシステム準拠)第3-5項をご参照下さい。

- ① 通常通り、プレイヤーのHDCPインデックスを、各ティーのスロープレーティングに基づいてコースHDCPに換算します。

プレイヤーA		プレイヤーB
15.0	HDCPインデックス	15.0
<u>バック</u> 75.2/140	<u>使用ティー</u> コースレーティング/スロープレーティング	<u>レギュラー</u> 71.8/130
19	コースHDCP* (HDCPインデックス×スロープレーティング÷113)	17
94	ターゲットスコア** (コースレーティング+コースHDCP)	89

*端数四捨五入 **ターゲットスコアとは各プレイヤーの目標スコア(端数四捨五入)



- ② 各ティーのコースレーティングの差を計算し、レーティングの高いティーを使用するプレイヤーのコースHDCPに足します(レーティングの低いティーを使用するプレイヤーのコースHDCPから引いても同様の結果が得られます)。

75.2	コースレーティング	71.8
19	コースHDCP	17
+3	レーティング差 75.2-71.8=3.4⇒3(端数四捨五入)	
22	調整後コースHDCP	17

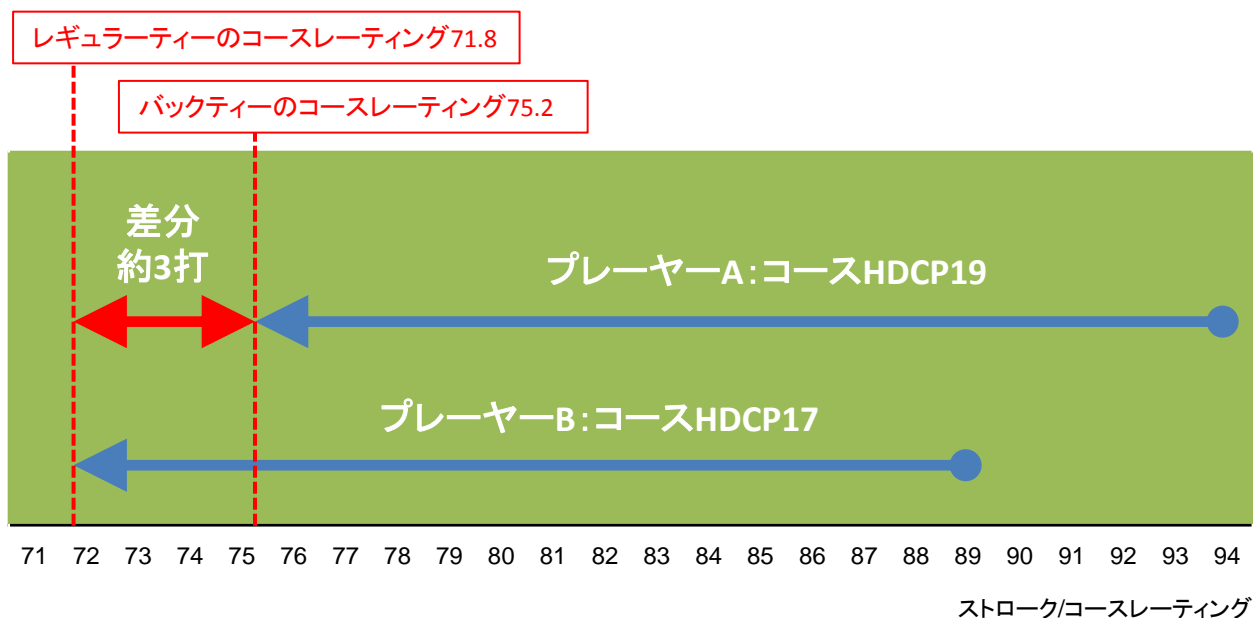


※この調整によって、両者は同じネットスコア(ターゲットスコア-調整後コースHDCP)に対してプレーすることになります。

94	ターゲットスコア	89
22	調整後コースHDCP	17
72	ネットスコア (ターゲットスコア-調整後コースHDCP)	72

★何故コースHDCPの追加調整が必要なのか？

コースHDCPは、使用するティーのコースレーティングでプレーするために、そのプレーヤーが必要とするHDCPストロークです。本例の場合、プレーヤーAのコースHDCP19は、バックティーのコースレーティング75.2相当のスコアで回るために適正なHDCPストロークです。またプレーヤーBのコースHDCP17は、レギュラーティーのコースレーティング71.8相当のスコアで回るために適正なHDCPストロークです。従って、コースレーティングの異なるティーを使用して両者がストローク戦で競い合う場合は、コースレーティングの差分(本例の場合は約3ストローク)を補う追加調整が必要となります。



★では、コースHDCPの換算は何のために行うのか？

HDCPインデックスは、スロープレーティングの標準値(113)に合わせて算出された指標値なので、プレーする際には、必ず使用するティーのスロープレーティング(55~155)に基づいてコースHDCPに換算してください。スロープレーティングは、コースレーティングでは表せないコース難易度を示したもので(最低55~最高155)、すべての技量のプレーヤーが、コースレーティングと同等のスコアでプレーするために必要なHDCPストロークを算出する源となります。

例えば本例の場合、両者のHDCPインデックスは共に15.0ですが、レギュラーティー(スロープ130)のプレーヤーBがコースHDCP17なのに対して、バックティー(スロープ140)のプレーヤーAはコースHDCP19となり、より難易度の高いバックティーからプレーするプレーヤーAのコースHDCPの方が多くなります。

スロープレーティングは、コースの距離、形状、障害の数や位置など、様々な要素に基づいて、スクラッチプレーヤー以外のプレーヤーにとっての難易度を標準化したものです。一般的にコースレーティングが大きくなるとスロープレーティングも大きくなる傾向にありますが、仮に同じコースレーティングのコースでも、個々の状況に応じてスロープレーティングが異なることは少なくありません。